

2026年4月23日

キリンビール株式会社

20代～50代のノンアルコール飲料を飲む1,100人へのユーザー調査

## 令和の連休は“酔わずにリフレッシュ”？ 新しい楽しみ方で選ばれる「令和のノンアルコール習慣」とは 自宅、休日、運動後、平日の外出ランチまで、リフレッシュシーンへ続々と広がる 新しいノンアルコール飲料のカタチをリードする「キリン グリーンスフリー」

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）は、ノンアルコール飲料（以下、ノンアルコール飲料）を飲む20代～50代の男女1,100人を対象に、ノンアルコール飲料に関する調査を実施しました。

### ① ノンアルコール飲料の飲用シーンは「お酒が飲めない場面」から「さまざまな生活シーン」へ広がっている

調査の結果、ノンアルコール飲料の飲用シーンは、従来の「車の運転がある」や「翌日に予定が控えている」といった、お酒が飲めない場面に限らず、自宅でのお家時間や休日のリラックスタイム、運動後、平日の外出ランチなど、日常のさまざまな生活シーンへと広がっていることがわかりました。ノンアルコール飲料は、「飲めないから仕方なく選ぶもの」だけでなく、自分の気分や過ごし方に合わせて選ばれる存在になりつつあることがうかがえます。

### ② 新しい飲用シーンでは「情緒的価値」を求めて選ばれている

こうした新しい飲用シーンでのノンアルコール飲料の飲用理由を見ると、「リフレッシュしたい」や「気分転換したい」といった情緒的な価値を求める理由が上位に挙げられています。お酒の代替としてではなく、ノンアルコール飲料ならではの心地よさや前向きな気分を得るために選ばれている点が特徴です。中でも、「キリン グリーンスフリー（以下、グリーンスフリー）」飲用者においては、こうした情緒的価値を理由にノンアルコール飲料を飲む傾向がより強く表れており、積極的な動機で「グリーンスフリー」を選んでいる人が多いことがわかりました。

### ③ 新しい飲用シーンでの広がりを定量的に確認

シーン別に見ると、「自宅」「休日」「運動後」「平日の外出ランチ」といった新しい飲用シーンにおいて、ノンアルコール飲料ユーザー全体でも一定の広がりが見られる一方、「グリーンスフリー」ユーザーでは、いずれのシーンにおいても飲用率が特に高い傾向が確認されました。また、これらのシーンに共通して、飲用理由の上位には「リフレッシュするため」が挙げられており、ノンアルコール飲料が“気分を切り替える一杯”として日常に定着しつつある実態が明らかになっています。

### 「ノンアルコール飲料ユーザー調査」主な調査結果

#### ● ノンアルコール飲料ユーザーのノンアルコール飲料の飲用シーン

自宅 71.8%、休日 71.7%、運動後※ 35.2%、平日の外出ランチ 23.9%

#### ● 「グリーンスフリー」ユーザーのノンアルコール飲料の飲用シーン

自宅 94.0%、休日 94.0%、運動後※ 67.4%、平日の外出ランチ 63.0%

※運動後の飲用率は週1日以上運動習慣のある人対象に集計

お家時間や外出レジャーなど、さまざまなシーンでの飲用ニーズが高まるノンアルコール飲料は、これからの行楽シーズンに向けて、さらに需要が高まる見込みです。この機会に「グリーンスフリー」を多くのお客様の手に取っていただくことで、「ノンアルコール飲料の新しい楽しみ方」を広げ、ノンアルコール飲料市場拡大に貢献します。

## 「ノンアルコール飲料ユーザー調査」 調査概要

ノンアルコール・ビールテイスト飲料やノンアルコールチューハイ、ノンアルコールカクテルなどのノンアルコール飲料を過去 1 カ月以内に飲用した 20 代～50 代の男女 1,100 人を対象に調査を行いました。このうち 100 人は、ノンアルコール・ビールテイスト飲料「グリーンズフリー」を過去 1 カ月以内に飲用した男女です。

- タイトル : 「ノンアルコール飲料ユーザー調査」
- 実施時期 : 2026 年 3 月 30 日 (月) ～4 月 1 日 (水)
- 調査対象 : 過去 1 カ月以内にノンアルコール飲料を飲用した 20 代～50 代の男女 1,100 人  
(うち 100 人は「グリーンズフリー」を過去 1 カ月以内に飲用した男女)
- 調査手法 : インターネット調査
- 調査委託先 : 楽天インサイト ※グラフの構成比 (%) は小数第 2 位以下を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

## 「ノンアルコール飲料ユーザー調査」 調査結果

### ■ ノンアルコール飲料は、「代替用途」とどまらず、情緒的価値を理由に選ばれる飲み物へ

まず、「ノンアルコール飲料を飲む理由」について聞いたところ、ノンアルコール飲料ユーザーは「クルマを運転する必要があるため」など、お酒が飲めない場面を飲用理由とする回答が多く見られました。一方で、「リフレッシュ・気分転換したい」を飲用理由とするユーザーが 22.7%と、ノンアルコール飲料の情緒的価値を求めているユーザーが一定数いることが分かりました。さらに、「グリーンズフリー」ではその傾向が顕著で、「リフレッシュ・気分転換したい」が最も多い飲用理由となっており、前向きな気持ちを得るためにノンアルコール飲料を選んでいる傾向がうかがえます [図 1]。このことから、「グリーンズフリー」ユーザーの特徴として、情緒的価値を理由に、積極的にノンアルコール飲料を楽しんでいる人が多いことがわかりました。

【図 1】 ノンアルコール飲料を飲む理由

Q. ノンアルコール飲料を飲む理由は? (複数回答)

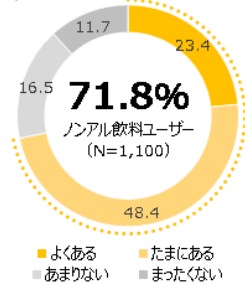
ノンアルコール飲料ユーザー		「グリーンズフリー」ユーザー	
1位	お酒を飲んだ気分になれるから 29.3	1位	リフレッシュ・気分転換したい 47.0
2位	クルマを運転する必要があるため 27.7	2位	お酒によって翌日の予定に支障が出ることを避けるため 42.0
3位	お酒によって翌日の予定に支障が出ることを避けるため 24.4	3位	クルマを運転する必要がある 41.0
4位	リフレッシュ・気分転換したい 22.7	4位	お酒を飲んだ気分になれる 37.0
5位	肝臓を休めるため 17.4	5位	爽快感が味わえる 36.0
ノンアルコール飲料ユーザー全体 (N=1,100) (%)		「グリーンズフリー」ユーザー (n=100) (%)	

### ■ 「自宅」シーンではリフレッシュ目的での飲用が定着

次に、シーン別にノンアルコール飲料の飲用実態を見ると、「自宅」でノンアルコール飲料を飲む人は、ノンアルコール飲料ユーザーでは 71.8%、「グリーンズフリー」ユーザーでは 94.0%にのびりました。自宅でノンアルコール飲料を飲む理由としては、いずれのユーザー層でも「リフレッシュするため」が 1 位となっていますが、「グリーンズフリー」ユーザーではこれに加え、「気分転換になる」「食事と合う」「健康のため」といった、より前向きで多面的な理由が挙げられました [図 2]。

【図 2】 自宅でのノンアルコール飲料の飲用と飲用理由

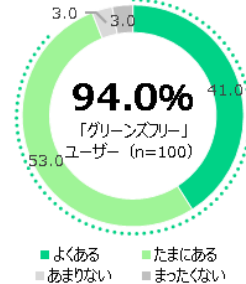
Q. 自宅でのノンアルコール飲料を飲む機会はあるか? (複数回答)



Q. 自宅でのノンアルコール飲料を飲む理由は? (複数回答)

ノンアルコール飲料ユーザー	
1位	リフレッシュするため 36.9
2位	アルコールの代替として 30.8
3位	気分転換になるから 29.8
4位	翌日に残らないから 27.8
5位	食事と合うから 26.6
自宅での飲用率 (n=971) (%)	

Q. 自宅でのノンアルコール飲料を飲む機会はあるか? (複数回答)



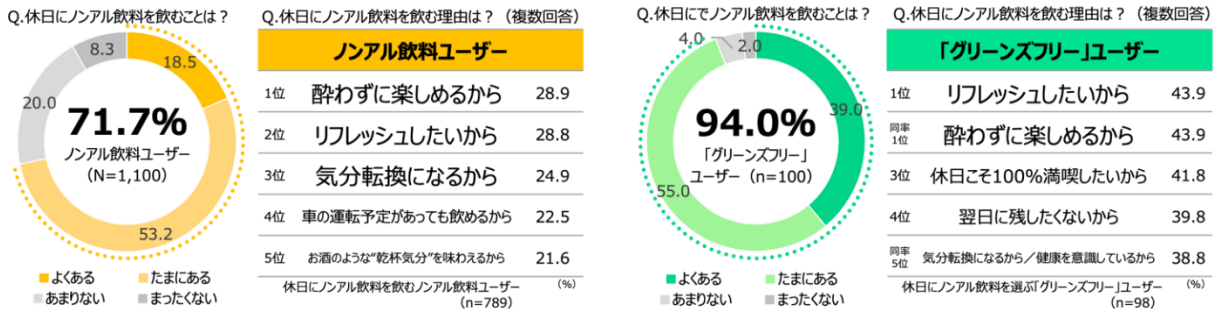
Q. 自宅でのノンアルコール飲料を飲む理由は? (複数回答)

「グリーンズフリー」ユーザー	
1位	リフレッシュするため 58.8
2位	気分転換になるから 53.6
3位	食事と合うから 47.4
4位	翌日に残らないから 46.4
5位	健康のため 43.3
自宅での飲用率 (n=97) (%)	

## ■「休日」は酔わずに楽しみたい気分寄り添う、ノンアルコールが選択肢に

比較的アルコール飲料を飲む余裕があると考えられる「休日」においても、ノンアルコールの飲用は広がっています。休日にノンアルコールを飲む人は、ノンアルコールユーザーでは71.7%、「グリーンスフリー」ユーザーでは94.0%と、いずれも高い割合となりました。飲用理由を見ると、ノンアルコールユーザーは「酔わずに楽しめるから」「リフレッシュしたいから」「気分転換になるから」が上位に挙げられています。一方、「グリーンスフリー」ユーザーでは、「リフレッシュしたいから」と「酔わずに楽しめるから」が同率で1位となっており【図3】、休日の前向きな余暇時間にノンアルコールが取り入れられている実態がうかがえます。

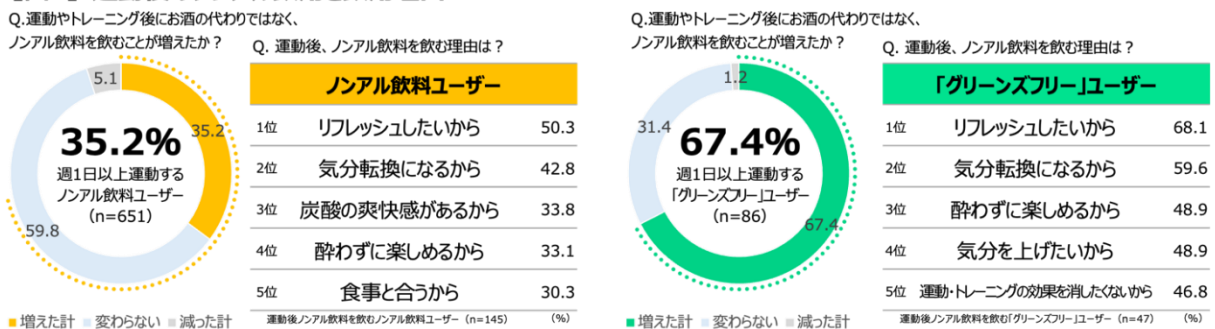
【図3】 休日のノンアルコール飲用と飲用理由



## ■「運動後」の新習慣として広がるノンアルコールでのリフレッシュ

運動後のシーンにおいても、ノンアルコールの新しい飲用習慣が見られました。週1日以上運動習慣がある人を対象に、「運動やトレーニング後に、ノンアルコールを飲むことが以前よりも増えたか」と聞いたところ、「増えた」と回答した人は、ノンアルコールユーザーで35.2%、「グリーンスフリー」ユーザーでは67.4%と、約3人に2人に達しました。運動後にノンアルコールを飲む理由としては、「リフレッシュしたいから」「気分転換になるから」が上位となっており【図4】、運動後のリフレッシュシーンにおいても、ノンアルコールが選ばれていることがわかります。

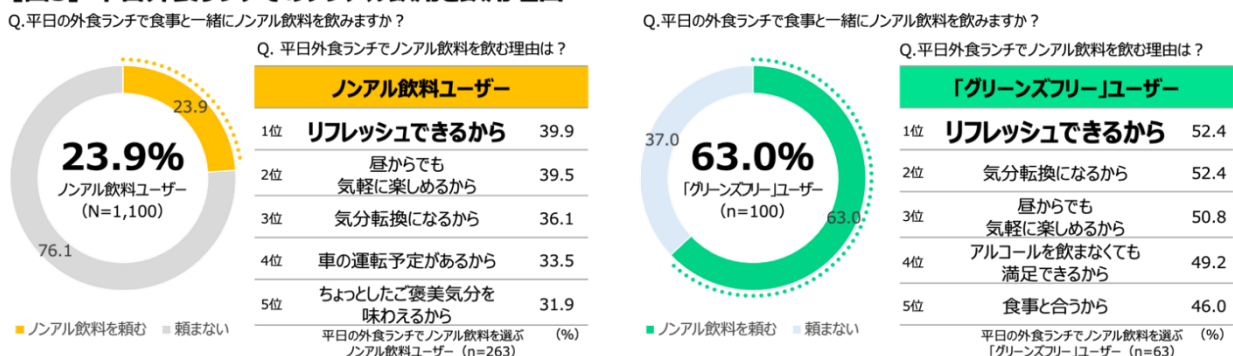
【図4】 運動後のノンアルコール飲用と飲用理由



## ■「平日の外食ランチ」でも、リフレッシュ目的でノンアルコールが選ばれる

さらに、「平日の外食ランチ」でノンアルコールを選ぶことがあると答えた人は、ノンアルコールユーザーでは23.9%、「グリーンスフリー」ユーザーでは63.0%となりました。その理由としては、いずれのユーザー層でも「リフレッシュできるから」が最も多く挙げられています【図5】。このことから、平日のランチという日常の中のひとときにおいても、気分を切り替えるための選択肢としてノンアルコールが浸透しつつあることがうかがえます。

【図5】 平日外食ランチでのノンアルコール飲用と飲用理由



## ■まとめ：ノンアルは前向きな選択肢として様々な生活シーンで取り入れられる存在へ

今回の調査から、ノンアル飲料は、自宅、休日、運動後、平日の外食ランチといったさまざまなシーンで、「リフレッシュしたいとき」「気分転換したいとき」に前向きに選ばれる飲み物となっていることが明らかになりました。なかでも「グリーンズフリー」ユーザーでは、いずれのシーンにおいても、よりポジティブで情緒的な価値を理由にノンアル飲料を選ぶ傾向が見られました。これからの行楽シーズンにもぴったりの「グリーンズフリー」は、新しい楽しみ方で選ばれる「令和のノンアル習慣」を象徴する存在として、その輪を今後も広げていきたいと考えています。

## ■グリーンズフリーを爽やかに愉しむ小野賢章さん出演『ALC.0.00%のすゝめ』WEB 動画も公開！

声優の小野賢章さんを起用した WEB 動画『ALC.0.00%のすゝめ』をキリンビール公式 X アカウントにて公開します。実際に日常的にノンアルコール・ビールテイスト飲料を愉しんでいる小野さんが、等身大の視点で「グリーンズフリー」を視聴者にすすめる全3作の WEB 動画です。リフレッシュしたいとき、好きな食べ物と、オフタイムのお供に、「グリーンズフリー」を飲み、酔わなくても“ごきげん気分”を愉しむ小野さんの語り声に、ぜひご注目ください。

※4月24日14:00よりYoutubeでも公開予定です。



### 小野賢章さんプロフィール

声優、俳優、ナレーター。1989年10月5日生まれ、福岡県出身。

4歳から子役として活動を開始。

12歳から10年間、映画『ハリー・ポッター』シリーズのハリー役の吹替を担当し、声優としての活動も始める。以降、『黄泉のツガイ』ユル役、『日本三國』三角青輝役、『アイドリッシュセブン』七瀬陸役、『SPY×FAMILY』ユーリ・ブライア役、『文豪ストレイドッグス』芥川龍之介役、『ジョジョの奇妙な冒険 黄金の風』ジョルノ・ジョバァーナ役、『黒子のバスケ』黒子テツヤ役、映画『機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ』ハサウェイ・ノア役、など多くの人気作品に出演。

2026年8月からは舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』でハリー・ポッター役を務める。

声優活動に加え、舞台にも多数出演し、俳優としても注目を集めている。